

国際花と緑の博覧会 「花の谷」

DATE | S63~H1
PLACE | 大阪市鶴見区
CLIENT | (財)国際花と緑の博覧会協会
CONTENTS | 基本計画・基本設計・実施設計・施工監理

造園作品選集 1992 掲載

「花の谷」計画の最も大きなテーマは、国際博・園芸博という場で、「造園としてどのような日本の花壇を創るか」ということでした。これまでの日本の造園計画は花壇を取り扱う技術は皆無に等しく、一方、園芸技術は植物を扱うことを主軸とするもので、空間づくりや景観づくりは二義的なものでしかありませんでした。このため「花の谷」では、「日本の花の風景とは?」「日本の風土にあった花壇とは?」「花壇での花と人の関わりとは?」といったことを捉え直し、我が国における新たな花壇のあり方を提示できるものを目指しました。計画ではコンセプトを「花のある景色づくり」とし、「里」にみられる風土景観と花との共演による新しいランドスケープの創出により日本の風土景観を昇華することを目指しています。

